

第3回 五人展 玉野を撮る!

更に今回から 六人展へ



左から鈴木サトシ、谷道彦、神達勝之、田邊淑子、山上高人

われわれ五人は、一年に一度だけ集まって写真展をします。誰かの居住地(第1回は御津町、第2回は牛窓町、第3回の今回は、玉野市)を選んで、その地を全員が、各自の方法や感性で、思い思いに写して、その地で同時に展覧会を開催するのです。これが、五人展なのです。

今回、尾上太一君が9月に銀座で「北前の記憶」展を開催したので、会員が急遽増えることになりました。玉野の撮影が間に合わないので、特別に他の写真に替えさせていただきます。同じ玉野を写しながらも、写真の多様性や方法の違いなどで、広がった展開はかくのごとく一目瞭然と異なります。県内外からの写真愛好者や玉野の人たちの写真文化の向上に、また多少でも町の活性化に資するものがあるのでなかろうかと始めた運動です。この六人のメンバーは、それぞれ東京で審査を通過して、招かれて写真展をしたもの達の集まりです。岡山県内写真のトップランナー達の、バラエティーある写真をご覧ください。来年は倉敷が予定されています。

会員紹介 (氏名の右が、当人の写真タイトルと趣意です)

谷 道彦 玉野市在住、今回の輪番制代表者。本年6月に『牛窓・Street』展をコニカプラザで行ったこれまでに新宿、大阪ミノルタフォトスペース、新宿ニコンサロンで個展を5回開催。写真集私家本13冊がある。

鈴木サトシ 牛窓町在住、本年12月にニコンサロンで『近視眼 サクシンX』の個展が予定されているなど、これまでに銀座・大阪のニコンサロンの他、7回の個展をしている。写真集『牛窓』がある。

山上 高人 倉敷市玉島在住、本年9月25日から銀座ニコンサロンで『別名で保存された無名の記憶』展が開催された。そのほか、これまでにニコンサロンで4回の個展がある。写真集『時計の外の時間』がある。

神達 勝之 御津町在住、新宿ミノルタフォトスペースで『ぶらり瀬戸内』展開催のほか二科関係での活躍がある他、各種写真雑誌に撮影指導写真を発表している。

田邊 淑子 倉敷市玉島在住、昨年5月、新宿にニコンサロンにて『右ポケットの時間』展を開催した。コンパクトカメラ一つで作品を創ります。

尾上 太一 岡山市に在住、今年9月銀座コダックフォトサロンにて『北前の記憶』展を開催する。六人の中で唯一大きな4×5インチのカメラを使う。

写真タイトルと趣意など

◎**玉野の人々** 玉野に移り住んでから35年、玉野は掛替えない故郷です。その玉野で、知り得た人々を写つさせて貰いました。初めての玉野での写真展なので、常々の、日常の見慣れた玉野を写して、写真に精神性を写しだす私のライフワークの写真は、また改めて見て頂く事にします。

◎**真夏の夜の夢** ここ数年、暇に任せて渋川通いを始めた。焼けつく砂浜での撮影は大変だが、また楽しさもある。望遠レンズ1本での撮影でなかなか思うようには撮れない。素早く写して素早く移動、これがポイントかも知れない。

◎**玉野** 釣り以外の目的で玉野に来たのは初めてでした。感じるままに表現してみたいと思い、町の持つ歴史や今置かれている状況など一切考えないようにして、自分のペースで歩いてみました。偶然に出会う光景やそこに漂う固有の雰囲気大切にしながらシャッターを切りました。見慣れた町に何か一つでも感じるものがあり新たに見えてくるものがあれば幸いです。

◎**光と影の記憶** 青空の広がる日、愛機を手にはぶらりと出かける。何気ない出会いとふれあいの中での感動を私の心に写し撮る。光と影・見慣れた風景が別世界に変わる。一瞬の感動の中に街や村の営みや生活が広がりを見せる。

◎**日曜散歩** 玉野の町は散歩に適している。静かでやさしい。商店街の看板がすごく古いそれが返って新鮮で面白い。まるでそこだけ時の流れが止まっているのではないかと錯覚するようなアーケード街があって何とも不思議で懐かしくて歩くのが楽しい。玉野は写真散歩にとってもよい。

◎**北前の記憶** かつての物流の大動脈であった「西回り航路」の足跡を取材撮影した作品です。日本海を北前船が往来した頃の遠い記憶を、そしてあの時代から連続して流れる静かな時間を感じていただければ幸いです。

平成13年10月23日~28日

於玉野市総合文化センター

主催 玉野市文化協会写真部 岡山写真研究会 後援 玉野市教育委員会 山陽新聞社 株式会社ニコン